



9月議会へ 一般質問 (坂本昌栄議員)

ひきこもりに特化した支援体制構築の進捗は

健康福祉部長「7年度に相談支援体制構築進め、居場所づくり検討する」

鶴岡市議会9月定例会9月9日の一般質問で、日本共産党の坂本昌栄議員は、①ひきこもり支援、②介護予防・日常生活総合事業について、取り上げました。

卒業後の不登校生徒の情報引き継ぎは



問 県の「令和5年度困難を有する若者等に関するアンケート調査」の報告では、困難を有するに至った経緯

について、不登校が平成30年度は14%、令和5年度は16.7%と増加している。長期ひきこもり状態におちいる前に、関連機関と連携し、早急な解決が重要である。学校卒業後の不登校生徒の情報も、教育委員会では引き継いでい

るのか。教育長 高校進学が予定されていない等、支援が必要と見込まれる生徒や家族については、保護者の要望に応じて、スクールソーシャルワーカーや、健康課職員と繋がるようしている。問 ひきこもり実態調査の検討について、進捗状況と現状把握はどうか。健康福祉部長 令和5年度に山形県が、県内全ての民生児童委員を

「国民を守る」なら防災に

▽9月25日の県議会一般質問を通して、防災分野でも国の政策転換が必要である事を痛感しました

財源保障も貧弱なためです。



岩淵参議院議員・山田守さんと水害視察

①河川水害対策 7月の豪雨で災害が発生した箇所は、藤島川や京田川を始めとして、河川整備計画の不備・未実施といった箇所が少なくありませんでした。赤川は観測史上最大規模の洪水が発生した場合、鶴岡市内3400世帯8900人への浸水被害が想定され、その防止のための河川整備は令和24年(18年後)までかかるかとされています。

②避難所整備・避難生活支援

過去最大の3840人が避難所に身を寄せ、長い所では2か月に及ぶ避難生活も発生しました。食事が弁当やパンだけになる状況もあり、感染症の発生による危機感も広がりました。国の避難所整備指針が低水準で、かつ市町村への

が公営住宅に入居する際に、洗濯機・冷蔵庫・エアコン・テレビ等の購入を県が市町村と連携して補助する事業が9月議会で可決されました。そもそもこれらのような最低限の生活用品を、国が保証しないという問題が明らかになりました。

☆赤川整備の事業費は約120億円と想定されていますが、石破新政権は「国民を守る」というならそうした防災対策・被災者支援に十分な予算を充てるべきです。

(県議 関 徹)

若者等のアンケート調査を実施した。

この調査により、現状を把握した。

今年度は、日本地域

福祉研究所の協力で、

本市に居住する18歳以

上の個人2000人に、

9月13日を回答期限で、福祉ニーズに

関するアンケート調査を

実施し、ひきこもりの

実態把握に努める。

問 アンケート調査後

は、どのようにしてい

くのか。

健康福祉部長 重層的

支援体制の中で、関わ

りを持ちながら支援し

ていく。

問 国では、ひきこも

り支援をどうするか。

介護予防B型事業7年間の総括は

問 介護予防・日常生活

総合支援事業では、

「B型」(サービズB)

は住民主体による事業

であり、7年間の事業

の総括はどうか。

健康福祉部長 7年間

で、サービズ提供団体

は通所型と訪問型が3

団体で、活動は広がっ

ていない。

研修を終了した23

0人を対象に、活動の

意向を確認し、サービ

ズ拡大に向け情報交換

を行った。

問 地域介護予防活動

支援事業や、つるおか

元気アップ事業を行っ

て、開催団体も順調に

増えてきているが、総

合事業サービズBの活

動に影響が及んでい

る。

令和6年8月に、厚

生労働省から総合事業

のガイドラインの一部

改正の通知があり、総

合事業全体の見直し

や、サービズBの要件

緩和も必要と考えるが

どうか。

健康福祉部長 これま

で、活動の拡大や継続

を目的に、要件の緩和

を行ってきた。

更なる緩和を求める

声もある。

国からも、サービズ

類型に縛られずに、総

合事業を弾力的に展開

することを含め、ガイ

ドラインが示された。

要件の見直しを含め

た事業の方向性につい

て検討する。

「命綱」東北と国会結ぶ



東北(定数12) 高橋ちづ子さん(65)＝現＝

6月に国会が閉会して以降、原発事故や豪雨の被災者、各種団体との懇談や、者からの要望の聞き取りなど、「命綱」への参

原発事故の避難者や漁業関係者との懇談。海洋放出について「漁をやっていくと不安がずっと付きまとう」と悲痛な声を聞きました。田村智子委員長と訴えた仙台市(20日)での街頭演説で「国は『帰還率が上がった』といいますが、そこからは見えてこない被災者の気持ちにどう応えるかが問われています。被災者の皆さんと困難を一つひとつ乗り越えて来ました。臨時国会を前に、街頭演説で力強く語ります。「日本共産党は1948年の同法制定に反対できませんので、当事者の皆さんへおわびを述べ、誤りであることを党大会決議にも書きました。歴史と向き合う党として新法を成立させ、検証と優先思想根絶のために先頭に立って頑張りたい」

比例候補 駆ける

国会と東北各県を全力で駆けつけています。青森県母子寡婦福祉連合会を皮切りに、30近くの団体を訪問しています。今月19日には、代表を務める国会議員団「福島チーム」として、福島県いわき市で

1区に三井寺氏、2区に岩本氏を擁立 共産党山形県委 日本共産党山形県委員会は9月21日、衆院選に向け山形県内の小選挙区で3区の山田まもる氏(写真左)に続いて、1区に三井寺修氏(44)、県青年学生部員、写真右)、2区に岩本こうじ氏(59)、置賜地区委員長、写真中央)を擁立することを決定しました。

自民党政治を変えるたたかい 日本共産党の躍進が焦点

いよいよ、解散・総選挙です。

日本共産党は、比例代表選挙を軸に、「650万票、10%以上の獲得で、すべての比例ブロックでの議席獲得と、議席増をめざします。

東北ブロックでは、現職の高橋ちづ子議員の必勝を目指します。小選挙区山形3区では、山田まもる氏が予定候補として勝利をめざします。

今度の総選挙は、裏金政治、経済無策、大軍拡と戦争国家づくり、気候危機、人権後進国に反省もない自民党政治を、もたらさざるたたかいです。

自民党などは、大企業からの献金をもとにした選挙資金を使い、大企業・大金持ちへの優遇政治をすすめています。

そのため、日本共産党が躍進できるかどうか、最大の焦点となります。

「国民が主人公」の政治を実現する選挙戦に勝利するため、物心両面のご協力をお願いいたします。



山田まもる 3区候補 第一声

10月15日(火) 午前10時～ 鶴岡市役所前



比例は 日本共産党

自民党政治を終わりにして、安心して暮らせる日本をお誘いあわせの上 ぜひお越しください。

市田忠義 副委員長 きたる!

10月16日(水) 午後1時30分～ パル前(美咲町)



建築課入札結果 () 内は予定価格

10月3日入札分

・鶴岡市消防本部・消防署照明設備LED化工事(美咲町36番1号)(入札8業者うち1業者辞退) 大同電気(株) 8,030,000円(8,270,000円) 工期～12/27(落札率97.10%)

商工課入札結果 () 内は予定価格

10月3日入札分

・工業団地高低測量業務委託(宝田三丁目・道形町地内)(入札13業者) 総合技術テクノス(株) 1,600,000円(1,620,000円) 期間～7/1/17(落札率98.77%)

水道課入札結果 () 内は予定価格

10月7日入札分

・本町一丁目地内消火栓移設工事(本町一丁目地内)(入札6業者うち1業者辞退) 森建設工業(株) 2,000,000円(2,180,000円) 工期～12/20(落札率91.74%)